参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
蛋白・膠質反応	
総蛋白(TP)(血清)	Gornall AG et al：J Biol Chem 177：751 ～ 766, 1949.
総蛋白(TP)(髄液・蓄尿)	田中　雅美,他：医療と検査機器・試薬 33（3）：393 ～ 397, 2010.
アルブミン(Alb)	浅井　孝道：検査と技術 7（10）：815 ～ 820, 1979.
尿中アルブミン	舛方　栄二：検査と技術 33（7）：625 ～ 630, 2005.
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	舛方　栄二：検査と技術 33（7）：625 ～ 630, 2005.
A/G比	浅井　孝道：検査と技術 7（10）：815 ～ 820, 1979.
蛋白分画	伊藤　喜久：Medical Technology 39（3）：278 ～ 284, 2011.
クンケル反応(ZTT)	金井　正光,他：臨床検査法提要 第34版(金原出版)：458, 2015.
酵素および関連物質	
CK(CPK)	日本臨床化学会：臨床化学 19（2）：184 ～ 208, 1990.
CK-MB(CPK-MB)〔免疫阻止-UV法〕	Wurzburg U et al：Klinische Wochenschrift 54：357 ～ 360, 1976.
AST(GOT)	日本臨床化学会：臨床化学 18（4）：226 ～ 230, 1989.
ALT(GPT)	日本臨床化学会：臨床化学 18（4）：250 ～ 254, 1989.
LD(LDH)IFCC	Schumann et al：Clin Chem Lab Med 49（9）：1439 ～ 1446, 2011.
LD(LDH)アイソザイム	森山　隆則,他：Medical Technology 25（1）：45 ～ 51, 1997.
アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	Schumann et al：Clin Chem Lab Med 49（9）：1439 ～ 1446, 2011.
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	倉澤　健太郎,他：医学と薬学 55（2）：279 ～ 285, 2006.
胎盤型アルカリフォスファターゼ(PLAP)	Shinichiro Watanabe, et al：Pediatr Neurosurg 48：141 ～ 145, 2012.
ALPアイソザイム(IFCC)	芝　紀代子：目でみる電気泳動法 2(医歯薬出版)：55 ～ 71, 1989.
γ-GT(γ-GTP)	日本臨床化学会酵素専門委員会：臨床化学 24（2）：106 ～ 121, 1995.
アルドラーゼ	三浦　雅一,他：臨床検査機器・試薬 12（5）：1005 ～ 1009, 1989.
コリンエステラーゼ(ChE)	大澤　進,他：臨床化学 24（3）：138 ～ 145, 1995.
グアナーゼ	手登根　稔,他：検査と技術 13（10）：901 ～ 905, 1985.
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	佐野　史良,他：臨床検査機器・試薬 9（4）：715 ～ 720, 1986.
ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	小林　照明,他：臨床検査機器・試薬14（6）：929 ～ 935, 1991.
アミラーゼ(AMY)	日本臨床化学会 酵素・試薬専門委員会：臨床化学 34（4）：350 ～ 361, 2005.
アミラーゼアイソザイム	星野　忠,他：日本臨床検査自動化学会会誌 37（3）：293 ～ 297, 2012.
P型アミラーゼ定量	高笠　信之：The Chemical Times 201（3）：9 ～ 11, 2006.
リパーゼ	宇治　義則,他：検査と技術 25（10）：819 ～ 824, 1997.
トリプシン	植田　進之介,他：医学と薬学 77（12）：1659 ～ 1668, 2020.
膵ホスホリパーゼA_2（膵PLA_2）	竹田　昌弘,他：ホルモンと臨床 38（7）：729 ～ 734, 1990.
エラスターゼ1	大出　勝也,他：胆と膵 23（6）：477～480, 2002.
子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	北村　光,他：臨床検査機器・試薬 21（4）：357 ～ 361, 1998.
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	西沢　良記,他：医学と薬学 54（5）：709 ～ 717, 2005.
リゾチーム	北村　元仕,他：実践臨床化学 増補版(医歯薬出版)：432 ～ 436, 1982.
アンギオテンシンⅠ転換酵素(ACE)	Kasahara Y et al：Clinical Chemistry 27（11）：1922 ～ 1925, 1981.
ペプシノゲン	三木　一正,他：医学と薬学 56（6）：889 ～ 896, 2006.
MMP-3（マトリックスメタロプロテイナーゼ-3）	氏家　真二,他：医学と薬学 67（5）：741 ～ 747, 2012.
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)〔LA〕	乾　正幸,他：日本ヘリコバクター学会誌 19（1）：33 ～ 42, 2017.
低分子窒素化合物	
クレアチニン	安原　正善,他：臨床検査機器・試薬 17（1）：59 ～ 67, 1994.
シスタチン C	Tanaka M, et al：Clinical Biochemistry 37（1）：27 ～ 35, 2004.
尿酸(UA)	金井　泉,他：臨床検査法提要 第32版(金原出版)：503 ～ 507, 2005.
尿素窒素(UN)	森下　芳孝：Medical Technology 26（6）：695 ～ 700, 1998.
アンモニア	奥田　拓道,他：最新医学 21（3）：622 ～ 627, 1966.
アミノ酸分析(39種類)〔LC/MS〕	Shimbo K. et al：Biomedical Chromatography 24（7）：683 ～ 691, 2010.
アミノ酸分析(41種類)	日本生化学会：生化学実験講座11 アミノ酸代謝と生体アミン 1版：53 ～ 67, 1976.
アミノ酸分析(9種類)〔LC/MS〕	Shimbo K. et al：Biomedical Chromatography 24（7）：683 ～ 691, 2010.
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)〔LC/MS〕	Shimbo K. et al：Biomedical Chromatography 24（7）：683 ～ 691, 2010.
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	中村　俊之,他：臨床病理 37（8）：911 ～ 917, 1989.
ハイドロキシプロリン-総	鈴木　隆夫,他：日本臨床化学会年会記録 28：118, 1988.
血中総ホモシステイン	Christian Hellmuth, et al：Journal of Chromatography B, 879：83 ～ 89, 2011.
糖質および関連物質	
グルコース	日本臨床化学会試薬専門委員会：臨床化学 20（4）：247 ～ 254, 1991.
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	水松　良光,他：日本臨床検査自動化学会会誌 41（2）：215 ～ 220, 2016.
グリコアルブミン	石橋　みどり,他：医学と薬学 52（3）：403 ～ 412, 2004.
ヒアルロン酸	島村　朗,他：医学と薬学 44（6）：1141 ～ 1146, 2000.
1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	遠藤　輝夫,他：医療と検査機器・試薬 26（1）：45 ～ 50, 2003.
シアル酸	水田　亘,他：臨床病理 54（特集）：128 ～ 134, 1983.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
有機酸	
乳酸	浅沼　和子,他：生物試料分析 8（3）：16～24, 1985.
ピルビン酸	浅沼　和子,他：生物試料分析 8（3）：16～24, 1985.
尿中シュウ酸	小川　由英,他：腎と透析 臨増：151～157, 1997.
血中ケトン体分画	西ヶ谷　晴美,他：医学検査 45（3）：353, 1996.
アセトン定量	深堀　すみ江,他：労働科学 59（12）：555～562, 1983.
有機酸スクリーニング検査	河野　芳功,他：日本小児科学会雑誌 89（10）：2327～2334, 1985.
脂質および関連物質	
中性脂肪(TG)	Tamaoku K et al：Chem Pharm Bull 30（7）：2492～2497, 1982.
リン脂質	Takayama M et al：Clinica Chimica Acta 79：93～98, 1977.
遊離脂肪酸(NEFA)	Sugo S, et al：Clinical Chemistry 36（1）：163, 1990.
総コレステロール(T-Cho)	金井　正光,他：臨床検査法提要 第34版(金原出版)：512, 2015.
エステル型コレステロール(Echo)	Richmond W：Clinical Chemistry 19（12）：1350～1356, 1973.
遊離コレステロール(F-Cho)	Richmond W：Clinical Chemistry 19（12）：1350～1356, 1973.
コレステロールエステル比	Richmond W：Clinical Chemistry 19（12）：1350～1356, 1973.
HDL-コレステロール	田口　隆由,他：臨床検査機器・試薬 24（1）：35～41, 2001.
$HDL_{2,3}$コレステロール	Bronzert TJ et al：Clinical Chemistry 23（11）：2089～2098, 1977.
LDL-コレステロール	菅野　剛史,他：医学と薬学 37（3）：635～644, 1997.
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	大石　千早,他：日本臨床検査自動化学会会誌 35（1）：83～87, 2010.
sd LDL-コレステロール	伊藤　康樹,他：日本臨床検査自動化学会会誌 37（1）：10～16, 2012.
酸化LDL(MDA-LDL)	小谷　一夫：酸化ストレスマーカー 学術出版センター：243～246, 2005.
脂肪酸分画(24成分)	小沢　昭夫,他：分析化学 31：87～91, 1982.
脂肪酸分画(4成分)	小沢　昭夫,他：分析化学 31：87～91, 1982.
極長鎖脂肪酸	小池　亮子：小児科診療 53（増）：394～397, 1990.
総胆汁酸	今野　稔：臨床検査機器・試薬 16（3）：472～479, 1993.
β-リポ蛋白	金井　正光,他：臨床検査法提要 第32版(金原出版)：548, 2005.
リポ蛋白分画〔アガロースゲル電気泳動法〕	芝　紀代子：目でみる電気泳動法2：91～99, 1989.
コレステロール分画	櫻林　郁之介,他：HDL-コレステロール基礎と臨床（株)テクノ：207～220, 1980.
リポプロテイン(a)	岡野　芳幸,他：日本臨床検査自動化学会会誌 21（5）：705～709, 1996.
リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi J et al：Clinica Chimica Acta 216：113～123, 1993.
アポリポ蛋白 A-Ⅰ	岡崎　伸次,他：日本臨床検査自動化学会会誌 12（4）：334, 1987.
アポリポ蛋白 A-Ⅱ	岡崎　伸次,他：日本臨床検査自動化学会会誌 12（4）：334, 1987.
アポリポ蛋白 B	岡崎　伸次,他：日本臨床検査自動化学会会誌 12（4）：334, 1987.
アポリポ蛋白 C-Ⅱ	岡崎　伸次,他：日本臨床検査自動化学会会誌 12（4）：334, 1987.
アポリポ蛋白 C-Ⅲ	岡崎　伸次,他：日本臨床検査自動化学会会誌 12（4）：334, 1987.
アポリポ蛋白 E	岡崎　伸次,他：日本臨床検査自動化学会会誌 12（4）：334, 1987.
肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	大木　卓,他：医学と薬学 71（1）：161～166, 2014.
肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	関根　かりん,他：医療検査と自動化 49（3）：186～190, 2024.
ビタミンおよび関連物質	
β-カロチン	加美山　茂利,他：臨床検査 31（3）：268～274, 1987.
ビタミンA	須原　聡,他：臨床検査 36（3）：235～239, 1992.
ビタミンB_1	宮川　秀則,他：生物試料分析 36（4）：327～330, 2013.
ビタミンB_2	大石　誠子：ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法(化学同人)：71～80, 1989.
ビタミンB_6	吉田　継親,他：薬学雑誌 98（10）：1319～1326, 1978.
ビタミンB_{12}	中森　誠,他：医療と検査機器・試薬 27（3）：215～221, 2004.
カルニチン分画	伊丹　儀友,他：臨床検査58（5）：651～658, 2014.
ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J et al：Analytical Biochemistry 229:329~335, 1995.
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	小島　哲：臨床化学 48（3）：239～244, 2019.
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	小島　哲：臨床化学 48（3）：239～244, 2019.
1,25-$(OH)_2$ビタミンD	Fraser WD et al：Ann Clin Biochem 34：632~637, 1997.
ビタミンE	阿部　皓一,他：栄養と食糧 28（5）：277～280, 1975.
ビタミンK分画	langenberg JP et al：Journal of Chromatography 305：61～72, 1984.
葉酸	西村　和子,他：生物試料分析 35（4）：299～308, 2012.
ニコチン酸(ナイアシン)	宮沢　滋：ビタミン 56（9・10）：487～499, 1982.
電解質・血液ガス	
Na(ナトリウム)	桑　克彦：臨床検査 34（11）：1353～1358, 1990.
K(カリウム)	桑　克彦：臨床検査 34（11）：1353～1358, 1990. 高橋　勝幸：検査と技術20（6）：106～110, 1992.
Cl(クロール)	関口　光夫：検査と技術 17（9）：1167～1172, 1989. 桑　克彦：臨床検査 34（11）：1353～1358, 1990.
Mg(マグネシウム)	北村　元仕：実践臨床化学 1版(医歯薬出版)：166～171, 1974.
Ca(カルシウム)	根占　哲也：都臨技会誌 34（5）：270～281, 2006.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
P(無機リン)	Drewes PA：Clinica Chimica Acta 39：81 ～ 88, 1972.
浸透圧	鈴木　明,他：検査と技術 6（9）：759 ～ 762, 1978.
生体微量金属	
鉄(Fe)(血清)	荒明　洋,他：臨床検査機器・試薬 6（2）：359 ～ 366, 1983.
鉄(Fe)(尿)	溝口　秀昭：臨床医 8（10）：1624 ～ 1626, 1982.
総鉄結合能(TIBC)	荒明　洋,他：臨床検査機器・試薬 6（2）：359 ～ 366, 1983.
不飽和鉄結合能(UIBC)	荒明　洋,他：臨床検査機器・試薬 6（2）：359 ～ 366, 1983.
Cu(銅)(血清)	Abe A et al：Clinical Chemistry 35（4）：552 ～ 554, 1989.
Cu(銅)(尿)	Ichida T et al：Clinica Chimica Acta 24：299 ～ 303, 1969.
Zn(亜鉛)(血清)	井上　哲,他：医療と検査機器・試薬 41（3）：283 ～ 287, 2018.
Zn(亜鉛)(尿)	Meret S et al：Clinical Chemistry 17（5）：369 ～ 373, 1971.
生体色素関連物質	
総ビリルビン(T-Bil)	徳田　邦明,他：臨床化学 22（2）：116 ～ 122, 1993.
ビリルビン(直接，間接)	徳田　邦明,他：臨床化学 22（2）：116 ～ 122, 1993.
コプロポルフィリン 定性	近藤　雅雄：日本臨牀 53（6）：1377 ～ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(尿)	近藤　雅雄：日本臨牀 53（6）：1377 ～ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(血液)	Salmi M et al：Clinical Chemistry 26（13）：1832 ～ 1835, 1980.
ウロポルフィリン	Salmi M et al：Clinical Chemistry 26（13）：1832 ～ 1835, 1980.
プロトポルフィリン	Salmi M et al：Clinical Chemistry 26（13）：1832 ～ 1835, 1980.
δ-アミノレブリン酸(δALA)	圓藤　陽子,他：産業医学 35（2）：126 ～ 127, 1993.
毒物・産業医学的代謝物質	
尿中総三塩化物 トリクロルエチレン	城山　康,他：松仁会医誌 25（2）：225 ～ 231, 1986.
尿中総三塩化物 1,1,1-トリクロルエタン	城山　康,他：松仁会医誌 25（2）：225 ～ 231, 1986.
尿中総三塩化物 テトラクロルエチレン	城山　康,他：松仁会医誌 25（2）：225 ～ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 トリクロルエチレン	城山　康,他：松仁会医誌 25（2）：225 ～ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 1,1,1-トリクロルエタン	城山　康,他：松仁会医誌 25（2）：225 ～ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 テトラクロルエチレン	城山　康,他：松仁会医誌 25（2）：225 ～ 231, 1986.
尿中馬尿酸	岸浪　菊江子,他：臨床化学 17（3）：128 ～ 135, 1988.
尿中メチル馬尿酸	岸浪　菊江子,他：臨床化学 17（3）：128 ～ 135, 1988.
尿中スチレン代謝物	岸浪　菊江子,他：臨床化学 17（3）：128 ～ 135, 1988.
尿中マンデル酸エチルベンゼン	岸浪　菊江子,他：臨床化学 17（3）：128 ～ 135, 1988.
尿中N-メチルホルムアミド	Mraz J et al：Journal of Chromatography 414：399 ～ 404, 1987.
尿中2,5-ヘキサンジオン	Iwata M et al：Int Arch Occup Environ Health 51：253 ～ 260, 1983.
アルミニウム(Al)	Oster O：Clinica Chimica Acta 114（1）：53 ～ 60, 1981.
クロム	松岡　澄：産業医学13（6）：525 ～ 537, 1971. 田中　俊行,他：医学と生物学101（5）：277 ～ 281, 1980.
カドミウム	Lagesson V et al：Clinical Chemistry 25（11）：1948 ～ 1953, 1979.
マンガン	Tsalev DL et al：Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17（6）：660 ～ 666, 1977.
生化学(その他)	
ネオプテリン	Hausen A et al：Journal of Chromatography 227（1）：61 ～ 70, 1982.
エタノール	馬嶋　正隆,他：北里医学 14：424 ～ 430, 1984.
イヌリン定量	木全　伸介,他：医療と検査機器・試薬 28（2）：143 ～ 149, 2005.
結石分析(成分比率)	神　ちひろ,他：分析化学 53（7）：735 ～ 741, 2004.
抗菌薬	
アミカシン	木村　英樹,他：日本臨床検査自動化学会会誌 33（5）：860 ～ 864, 2008.
トブラマイシン	木村　英樹,他：日本臨床検査自動化学会会誌 33（5）：860 ～ 864, 2008.
ゲンタマイシン	石橋　みどり,他：医学と薬学 42（6）：1061 ～ 1074, 1999.
バンコマイシン	石澤　春美,他：栃木県臨床衛生検査技師会雑誌 8（2）：103 ～ 107, 2013.
テイコプラニン	諸岡　美里,他：日本臨床検査自動化学会会誌 38（1）：79 ～ 82, 2013.
抗てんかん薬	
カルバマゼピン	石橋　みどり,他：医学と薬学 42（6）：1061 ～ 1074, 1999.
ジアゼパム	Brodie R R et al：Journal of Chromatography 150（2）：361 ～ 366, 1978.
エトスクシミド	宮本　侃治：臨床化学 6（3）：202 ～ 211, 1978.
フェノバルビタール	石橋　みどり,他：医学と薬学 42（6）：1061 ～ 1074, 1999.
フェニトイン	石橋　みどり,他：医学と薬学 42（6）：1061 ～ 1074, 1999.
プリミドン	宮本　侃治：臨床化学 6（3）：202 ～ 211, 1978.
バルプロ酸	石橋　みどり,他：医学と薬学 42（6）：1061 ～ 1074, 1999.
トリメタジオン	斉藤　正行,他：ドラッグレベルモニタリング　治療への臨床化学的アプローチ：100 ～ 110, 1982.
ゾニサミド	安田　真依,他：医療と検査機器・試薬 38（2）：205 ～ 210, 2015.

検査項目	測定法参考文献
トピラマート	Matar, K M：Clinica Chimica Acta 411：729～734, 2010.
レベチラセタム	Mendu D R, et al：Clinical Biochemistry 43（4-5）：485～489, 2010.
ブリーバラセタム	Mohamed S, et al：Ther Drug Monit 42（3）：445～451, 2020.
スチリペントール	Deeb S,et al：J Anal Toxicol 38（8）：485～494, 2014.
ルフィナミド	Deeb S,et al：J Anal Toxicol 38（8）：485～494, 2014.
ペランパネル	Mano Y, et al：J Pharm Biomed Anal 107：56～62, 2015.
ラコサミド	Drew Payto, et al：Bioanalysis 6（23）：3161～3168, 2014.
アセタゾラミド	Sadee W et al：ドラッグレベルモニタリング：90～91, 1982.
免疫抑制薬	
シクロスポリン	大前　星佳,他：医学と薬学 81（3）：257～261, 2024.
タクロリムス	岡崎　一幸,他：医学と薬学 79（8）：1109～1116, 2022.
ミコフェノール酸	細坪　秀夫,他：今日の移植 14（4）：485～491, 2001.
循環器用薬	
ジゴキシン	水内　由利,他：医学と薬学 35（4）：847～851, 1996.
ジソピラミド	扇谷　茂樹,他：臨床検査機器・試薬 6（2）：520～523, 1983.
リドカイン	宮本　侃治：臨床化学 6（3）：202～211, 1978.
プロカインアミド	木村　英樹,他：日本臨床検査自動化学会会誌 33（5）：860～864, 2008.
プロプラノロール	Ahnoff M et al：Journal of Chromatography 340：73～138, 1985.
ピルメノール	市川　林,他：臨床医薬 11（4）：903～906, 1995.
精神神経用薬	
ハロペリドール	白井　晶子,他：医学と薬学 49（6）：1011～1017, 2003.
ブロムペリドール	白井　晶子,他：医学と薬学 50（1）：101～107, 2003.
リチウム	細羽　恵美子,他：臨床化学 46（1）：39～46, 2017.
薬物（その他）	
アセトアミノフェン	木村　英樹,他：日本臨床検査自動化学会会誌 33（5）：860～864, 2008.
テオフィリン	石橋　みどり,他：医学と薬学 42（6）：1061～1074, 1999.
サリチル酸	木村　英樹,他：日本臨床検査自動化学会会誌 33（5）：860～864, 2008.
メトトレキサート	鈴木　瑛真,他：医療検査と自動化 50（1）：16～21, 2025.
イマチニブ	Bakhtiar R, et al：Journal of Chromatography B 768：325～340, 2002.
血液一般・形態検査	
血液一般検査	金井　正光,他：臨床検査法提要 第32版　（金原出版）：265～295, 2005.
好酸球数	金井　正光,他：臨床検査法提要 第32版　（金原出版）：265～295, 2005.
網赤血球数（RET）	金井　正光,他：臨床検査法提要 第32版　（金原出版）：265～295, 2005.
末梢血液像	西　国広,他：血液形態観察のすすめ方 第2版：1～288, 1995. 巽　典之,他：自動血液検査品質保証論：26～27, 2005.
鼻汁中好酸球	奥田　稔：臨床検査 29（3）：267～272, 1985.
凝固・線溶関連検査	
活性化部分 トロンボプラスチン時間（APTT）	日野　志郎：臨床検査講座15　血液学：244～250, 1984.
プロトロンビン時間（PT）	高宮　脩：臨床検査機器・試薬 17（6）：1079～1085, 1994.
フィブリノゲン（FIB）	金井　正光,他：臨床検査法提要 第33版　（金原出版）：358～360, 2010.
可溶性フィブリンモノマー複合体（SFMC）	八戸　雅孝,他：臨床病理 60（12）別冊：1139～1144, 2012.
フィブリンモノマー複合体定量	内藤　澄悦,他：医学と薬学 48（4）：595～599, 2002.
FDP定量（血漿）	長野　美恵子,他：医療と検査機器・試薬 27（1）：23～29, 2004.
FDP定量（尿）	堀内　伸純,他：臨床検査機器・試薬 14（2）：267～270, 1991.
Dダイマー	大石　彩,他：Sysmex Journal Web 17（4）：1～10, 2016.
プロトロンビンフラグメントF1+2	Pelzer H, et al：Thrombosis and Haemostasis 65（2）：153～159, 1991.
アンチトロンビン（AT）	Scully M F et al：Clinica Chimica Acta 79（3）：595～602, 1977.
トロンビン・アンチトロンビン複合体（TAT）	木村　真波,他：医療と検査機器・試薬 33（4）：525～533, 2010.
プラスミノゲン	Friberger P et al：Haemostasis 7：138～145, 1978.
アンチプラスミン（α_2プラスミンインヒビター）	Friberger P et al：Haemostasis 7：138～145, 1978.
α_2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体（PICテスト）	徐　吉夫,他：臨床検査機器・試薬 16（6）：1107～1113, 1993.
トータルPAI-1（tPA・PAI-1複合体）	曽我部　万紀,他：医学のあゆみ 173（12）：997～998, 1995.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子（F8）〔合成基質法〕	金井　正光,他：臨床検査法提要 第34版（金原出版）：407～410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子（F9）〔合成基質法〕	金井　正光,他：臨床検査法提要 第34版（金原出版）：407～410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅱ因子（F2）	安達　眞二：Medical Technology 24（6）：629～633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅴ因子（F5）	安達　眞二：Medical Technology 24（6）：629～633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅶ因子（F7）	安達　眞二：Medical Technology 24（6）：629～633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子（F8）	安達　眞二：Medical Technology 24（6）：629～633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子（F9）	安達　眞二：Medical Technology 24（6）：629～633, 1996.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
凝固因子活性検査 第X因子(F10)	安達　眞二：Medical Technology 24（6）：629～633, 1996.
凝固因子活性検査 第XI因子(F11)	安達　眞二：Medical Technology 24（6）：629～633, 1996.
凝固因子活性検査 第XII因子(F12)	安達　眞二：Medical Technology 24（6）：629～633, 1996.
凝固因子活性検査 第XIII因子(F13)	Fickenscher K et al：Thrombosis and Haemostasis 65（5）：535～540, 1991.
フォン・ウィルブランド因子抗原定量	Stufano F. et al：Haemophilia 20（1）：147～153, 2014.
凝固抑制因子検査 第VIII(8)因子	Sirridge MS et al：Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd：196～198, 1983.
凝固抑制因子検査 第IX(9)因子	Sirridge MS et al：Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd：196～198, 1983.
フォン・ウィルブランド因子活性(リストセチンコファクター)	Stufano F. et al：Haemophilia 20（1）：147～153, 2014.
フォン・ウィルブランド因子マルチマー解析	Susan Oliver et al：international journal of laboratory hematology 41（6）：762～771, 2019.
ADAMTS13-活性	伊藤　晋,他：日本輸血細胞治療学会誌 56（1）：27～35, 2010.
ADAMTS13 インヒビター	伊藤　晋,他：日本輸血細胞治療学会誌 56（1）：27～35, 2010.
β-トロンボグロブリン(β-TG)	高橋　芳右,他：血液と脈管 18（4）：326～335, 1987.
血小板第4因子(PF-4)	高橋　芳右,他：血液と脈管 18（4）：326～335, 1987.
プロテインC(抗原量)	筒井　聰明,他：検査と技術 12（7）：581～587, 1984.
プロテインC活性	藤岡　貴：医学と薬学 73（5）：621～626, 2016.
プロテインS(抗原量)	安藤　秀実,他：医療と検査機器・試薬 41（5）：509～519, 2018.
プロテインS活性	藤岡　貴：医学と薬学 73（5）：621～626, 2016.
プロテインS(遊離型抗原量)	安藤　秀実,他：医療と検査機器・試薬 41（5）：509～519, 2018.
トロンボモジュリン	小野　真弓,他：日本臨床検査自動化学会会誌 38（1）：114～117, 2013.
視床下部・下垂体ホルモン	
成長ホルモン(GH)	小山　沙世,他：医学と薬学 68（5）：899～910, 2012.
IGF-1(ソマトメジンC)SDスコア	Isojima T, et al：Endocr J 70（10）：1023～1027, 2023.
プロラクチン	古屋　実,他：医学と薬学 74（7）：819～830, 2017.
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	古屋　実,他：医学と薬学 74（3）：317～326, 2017.
黄体形成ホルモン(LH)	古屋　実,他：医学と薬学 74（7）：819～830, 2017.
卵胞刺激ホルモン(FSH)	古屋　実,他：医学と薬学 74（7）：819～830, 2017.
甲状腺刺激ホルモン(TSH)〔CLEIA〕IFCC	北川　亘,他：医学と薬学 78（1）：59～70, 2021.
抗利尿ホルモン(AVP)	田中　誠仁,他：医学と薬学 72（8）：1379～1388, 2015.
甲状腺ホルモンおよび結合蛋白	
遊離トリヨードサイロニン(Free T_3)	矢野　美沙紀,他：医学と薬学 77（5）：793～804, 2020.
遊離サイロキシン(Free T_4)	矢野　美沙紀,他：医学と薬学 77（5）：793～804, 2020.
サイログロブリン〔CLEIA〕	北村　由之,他：医学と薬学 77（12）：1683～1690, 2020.
副甲状腺ホルモン	
副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	山岡　美穂,他：医学と薬学 46（5）：753～758, 2001.
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	森山　和重,他：医学と薬学 70（4）：829～836, 2013.
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	福本　誠二,他：ホルモンと臨床 40（12）：1309～1314, 1992.
カルシトニン	北川　亘,他：医学と薬学 72（1）：97～108,　2015.
副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白	
血中11-OHCS	宇田川　美佐子,他：臨床化学 5（3）：321～325, 1977.
コルチゾール	古屋　実,他：医学と薬学 74（7）：819～830, 2017.
尿中コルチゾール	関口　昌江,他：医学と薬学 69（6）：985～991, 2013.
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	増戸　梨恵,他：医学と薬学 56（3）：443～448, 2006.
17α-ヒドロキシプロゲステロン(生後4ヵ月以下)	柳瀬　里美,他：医学と薬学 78（4）：461～466, 2021.
17α-ヒドロキシプロゲステロン(生後5ヵ月以上)	柳瀬　里美,他：医学と薬学 78（4）：461～466, 2021.
副腎髄質ホルモン	
カテコールアミン総	Honda S et al：Analytica Chimica Acta 149：297～303, 1983.
カテコールアミン3分画(血漿)	辻　潮,他：臨床検査機器・試薬 11（4）：635～641, 1988.
カテコールアミン3分画(尿)	Honda S et al：Analytica Chimica Acta 149：297～303, 1983.
メタネフリン・ノルメタネフリン分画(クレアチニン換算値)	水村　千恵,他：医学検査 68（2）：276～280, 2019. Xie Z, et al：J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci 1099：83～91, 2018.
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	水村　千恵,他：医学検査 68（2）：276～280, 2019. Xie Z, et al：J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci 1099：83～91, 2018.
L-ドーパ	守　和子：産業医学 17：170～171, 1975.
ドーパミン総	守　和子：産業医学 17：170～171, 1975.
HVA	Gironi A et al：Clinical Chemistry 34（12）：2504～2506, 1988.
VMA	Gironi A et al：Clinical Chemistry 34（12）：2504～2506, 1988.
セロトニン(血液)	Anderson GM et al：Gastroenterology 88：86～89, 1985.
セロトニン(血漿)	Nebinger P et al：Journal of Chromatography 427：326～330, 1988.
5-HIAA(血漿)	小島　司,他：臨床化学 21（2）：119～126, 1992.
5-HIAA(尿)	Mailman RB et al：Clinical Chemistry 31（11）：1849～1854, 1985.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白	
エストラジオール(E2)	古屋　実,他：医学と薬学 74（7）：819～830, 2017.
プロゲステロン	古屋　実,他：医学と薬学 74（7）：819～830, 2017.
プレグナンジオール	平井　利生,他：日本臨床検査自動化学会会誌 9（2）：564～567, 1984.
プレグナントリオール	平井　利生,他：日本臨床検査自動化学会会誌 9（2）：564～567, 1984.
テストステロン	古屋　実,他：医学と薬学 74（7）：819～830, 2017.
絨毛性ゴナドトロピン(βHCG)	高橋　亘,他：医学検査 57（4）：404, 2008.
遊離HCG-β(HCG-βサブユニット)	Cole LA：Clinical Chemistry 43（12）：2233～2243, 1997.
抗ミュラー管ホルモン(AMH)〔CLEIA〕	浅田　義正,他：医学と薬学 76（10）：1527～1532, 2019.
膵・消化管ホルモン	
インスリン	唐澤　美佳,他：医療と検査機器・試薬 29（5）：479～484, 2006.
C-ペプチド(CPR)	唐澤　美佳,他：医療と検査機器・試薬 29（5）：485～491, 2006.
膵グルカゴン	北村　忠弘,他：医学と薬学 82（4）：229～239, 2025.
ガストリン	花石　智子,他：医学と薬学 80（5）：513～520, 2023.
内分泌学的(その他)	
アルドステロン〔CLEIA〕	佐藤　文俊,他：医学と薬学 76（12）：1819～1826, 2019.
レニン濃度(ARC)〔CLEIA〕	佐藤　文俊,他：医学と薬学 76（12）：1827～1832, 2019.
レニン活性(PRA)〔EIA〕	宇津　貴央,他：医学と薬学 73（3）：311～321, 2016.
サイクリックAMP	孫　孝義,他：日本内分泌学会雑誌 61（9）：912～923, 1985.
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	浜　典男,他：基礎と臨床 25（13）：4205～4212, 1991.
ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド(BNP)	伊藤　洋子,他：医学と薬学 64（6）：931～939, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	高橋　美穂,他：医学と薬学 83（2）：55～64, 2026.
エリスロポエチン	増田　詩織,他：医学と薬学 67（2）：297～306, 2012.
オステオカルシン	吉村　典子,他：Osteoporosis Japan 13（3）：759～765, 2005.
低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	西村　順,他：医学と薬学 57（4）：523～535, 2007.
肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷　好行,他：臨床検査 35（13）：1360～1364, 1991.
FGF23〔CLEIA〕	和泉　裕一,他：医療と検査機器・試薬 42（3）：219～224, 2019.
アディポネクチン〔LA〕	Nishimura A. et al：Clinica Chimica Acta 371：163～168, 2006.
レプチン〔ELISA〕	小川　佳宏,他：医学と薬学 77（5）：1～8, 2020.
sFlt-1/PlGF比	Stefan Verlohren, et al：American Journal of Obstetrics Gynecology 202（2）：161.e1～161.e11, 2009.
腫瘍関連抗原	
癌胎児性抗原(CEA)	鈴木　尚子,他：医学と薬学 56（6）：897～907, 2006.
α-フェトプロテイン定量	鈴木　尚子,他：医学と薬学 56（6）：897～907, 2006.
塩基性フェトプロテイン(BFP)	設楽　光弘,他：臨床病理 36（9）：1039～1044, 1988.
CA125	黒田　雅顕：医療と検査機器・試薬 29（6）：589～596, 2006.
組織因子経路インヒビター 2(TFPI2)	明庭　昇平,他：東ソー研究・技術報告 65：89～93, 2021.
CA15-3	黒田　雅顕：医療と検査機器・試薬 29（6）：589～596, 2006.
BCA225	小林　美耶子,他：医学と薬学 72（7）：1249～1259, 2015.
CA19-9	鈴木　尚子,他：医学と薬学 56（6）：897～907, 2006.
CA72-4	矢田　紗世,他：医学と薬学 74（7）：831～840, 2017.
CA54/61	野澤　志朗,他：癌と化学療法 19（12）：2085～2093, 1992.
DUPAN-2	櫻林　郁之介,他：臨床病理 34（6）：705～710, 1986.
APOA2アイソフォーム	十亀　麻子,他：医学と薬学 80（11）：1089～1096, 2023.
シアリルLe^{x}-i抗原(SLX)	井村　裕夫,他：癌と化学療法 14（5）：1315～1321, 1987.
シアリルLe^{x}抗原(CSLEX)	三鳴　芳樹,他：医学と薬学 29（5）：1193～1200, 1993.
NCC-ST-439	吉岡　久,他：臨床病理 35（11）：1233～1238, 1987.
SPan-1	梅山　馨,他：膵臓 3（4）：528～539, 1988.
SCC	林　圭織,他：医学と薬学 76（12）：1809～1818, 2019.
前立腺特異抗原(PSA)	細羽　恵美子,他：医学と薬学 76（11）：1635～1641, 2019.
S2,3PSA%	米山　徹,他：医療と検査機器・試薬 46（5）：244～257, 2023.
γ-セミノプロテイン(γ-Sm)	佐藤　達郎,他：医学と薬学 43（1）：97～106, 2000.
シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	黒田　雅顕：医療と検査機器・試薬 29（6）：597～602, 2006.
5-S-システイニルドーパ(5-S-CD)	Wakamatsu K et al：Clinical Chemistry 40（3）：495～496, 1994.
NSE(神経特異エノラーゼ)	矢田　紗世,他：医学と薬学 74（7）：831～840, 2017.
PIVKA-Ⅱ	古谷　桃子,他：医学検査 68（1）：56～60, 2019.
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	山本　典江,他：医療と検査機器・試薬 32（2）：263～267, 2009.
血清抗p53抗体	橋本　礼輔,他：医学と薬学 75（8）：955～964, 2018.
血清 HER2タンパク	LuftnerD, et al：The International Journal of Biological Markers 19（3）：175～182, 2004.
可溶性メソテリン関連ペプチド	中町　衛,他：医学と薬学 65（2）：261～267, 2011.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
ウイルス感染症検査	
HBVゲノタイプ	田中　靖人,他：臨床病理 57（1）：42 ～ 47, 2009.
HBV DNA定量(IU)	菅原　昌章,他：医学と薬学 73（10）：1329 ～ 1339, 2016.
HBs抗原(HQ)	戸来　孝,他：医学と薬学 72（9）：1569 ～ 1577, 2015.
HBs抗体〔CLEIA〕	大根　久美子,他：臨床病理 63（8）：907 ～ 912, 2015.
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	Inoue T, et al：J Hepatol 75（2）：302 ～ 310, 2021.
HBc抗体(IgG)	八橋　弘,他：医学と薬学 66（6）：1075 ～ 1081, 2011.
IgM-HBc抗体	熊谷　保之：日本臨床検査自動化学会会誌 25（1）：70 ～ 74, 2000.
HA抗体	矢野　公士,他：医学と薬学 58（1）：151 ～ 161, 2007.
IgM-HA抗体	矢野　公士,他：医学と薬学 58（1）：151 ～ 161, 2007.
HCV群別(グルーピング)	長谷川　瞳,他：医学と薬学70（3）：633 ～ 641, 2013.
HCV RNAコアジェノタイプ	Ohno T et al：Journal of Clinical Microbiology 35（1）：201 ～ 207, 1997.
HCV RNA定量	菅原　昌章,他：医学と薬学 73（10）：1329 ～ 1339, 2016.
HCV抗原(コア蛋白質)	田原　和子,他：日本臨床検査自動化学会会誌 36（2）：267 ～ 274, 2011.
IgA-HEV抗体(定性)	飯野　四郎,他：医学と薬学 53（4）：461 ～ 469, 2005.
ヒトパルボウイルスB19 IgG	要藤　裕孝,他：感染症学雑誌 69（10）：1135 ～ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19 IgM	要藤　裕孝,他：感染症学雑誌 69（10）：1135 ～ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19DNA 定性	Sevall JS：Molecular and Cellular Probes 4：237 ～ 246, 1990.
ヒトパピローマウイルスDNA(16型､18型､その他ハイリスクグループ)	三浦　俊昭,他：医学と薬学 69（1）：157 ～ 162, 2013.
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	尾崎　聡,他：臨床病理 60（7）：621 ～ 626, 2012.
アデノウイルス	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
アデノウイルスDNA 定性	Lu X, et al：J Clin Microbiol 51（4）：1089 ～ 1093, 2013.
アデノウイルスDNA 定量	Lu X, et al：J Clin Microbiol 51（4）：1089 ～ 1093, 2013.
アデノウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 7型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 11型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
アデノウイルス 37型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス特異抗原	川名　尚,他：感染症学雑誌 61（9）：1030 ～ 1037, 1987.
単純ヘルペスウイルス	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
単純ヘルペスウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第３版 第1分冊：48 ～ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第３版 第1分冊：48 ～ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス DNA 定性	Cao M et al：J Invest Dermatol 82：391 ～ 392, 1989.
単純ヘルペスウイルス DNA定量	Stevens J：実験医学 15（7S）：728 ～ 733, 1997.
単純ヘルペスウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	林　伸英,他：生物試料分析 36（3）：229 ～ 234, 2013.
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原	新村　眞人,他：感染症学雑誌 64（2）：195 ～ 201, 1990.
水痘・帯状疱疹ウイルス	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgG	吉田　晃,他：臨床とウイルス 13（4）：490 ～ 496, 1985.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgM	平野　勝,他：医学と薬学 42（4）：641 ～ 645, 1999.
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	本藤　良,他：日本臨牀 50（特別号）：160 ～ 165, 1992.
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	Kimura H et al：The Journal of Infectious Diseases 178：310 ～ 317, 1998.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	権藤　久司,他：臨床血液 34（11）：1438 ～ 1444, 1993.
サイトメガロウイルス	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
サイトメガロウイルス IgG	熊田　洋高,他：医学と薬学 72（6）：1087 ～ 1094, 2015.
サイトメガロウイルス IgM	熊田　洋高,他：医学と薬学 72（6）：1087 ～ 1094, 2015.
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	Mitani Y, et al：Nat Methods 4（3）：257 ～ 262, 2007.
サイトメガロウイルス DNA 定性	Olive DM et al：Journal of Clinical Microbiology 27（6）：1238 ～ 1242, 1989.
サイトメガロウイルス核酸定量	森　沙耶香,他：医学と薬学 77（8）：1181 ～ 1188, 2020.
EBウイルスDNA 定量	Kimura H, et al：J Clin Microbiol 37（1）：132 ～ 136, 1999.
EBウイルスDNA(クロナリティ)	Raab-Traub N et al：Cell 47：883 ～ 889, 1986.
EBウイルス 抗VCA IgG〔EIA〕	脇口　宏,他：医学と薬学 58（2）：363 ～ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgG〔FA〕	日沼　頼夫,他：臨床病理 特(35)：179 ～ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgM〔EIA〕	脇口　宏,他：医学と薬学 58（2）：363 ～ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgM〔FA〕	日沼　頼夫,他：臨床病理 特(35)：179 ～ 189, 1978.

検査項目	測定法参考文献
EBウイルス 抗VCA IgA	日沼　頼夫,他：臨床病理 特(35)：179 ～ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA IgG	脇口　宏,他：医学と薬学 58（2）：363 ～ 369, 2007.
EBウイルス 抗EA-DR IgG	日沼　頼夫,他：臨床病理 特(35)：179 ～ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA-DR IgA	日沼　頼夫,他：臨床病理 特(35)：179 ～ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA	日沼　頼夫,他：臨床病理 特(35)：179 ～ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA IgG	脇口　宏,他：医学と薬学 58（2）：363 ～ 369, 2007.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	近藤　一博,他：蛋白質核酸酵素 35（17）：3041 ～ 3047, 1990.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA定量	Tanaka N et al：Bone Marrow Transplantation 26：1193 ～ 1197, 2000.
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	Yalcin S et al：Archives of Virology 136：183 ～ 190, 1994.
エンテロ ウイルス 70型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エンテロ ウイルス 71型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群4型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群5型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群6型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群7型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
コクサッキーウイルス A群10型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群2型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群2型〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群3型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群3型〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群4型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群4型〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群5型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群5型〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル（文光堂）：880 ～ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群6型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群6型〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
エコーウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 3型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 7型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 9型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 11型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 12型〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 13型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 14型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 17型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 18型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 22型(パレコウイルス1型)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 24型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 25型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
エコーウイルス 30型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
日本脳炎ウイルス(JaGAr株)	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第2分冊：81 ～ 97, 1987.
日本脳炎ウイルス	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
風疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214 ～ 225, 1973.
風疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48 ～ 61, 1987.
風疹ウイルス IgM	佐藤　俊則,他：臨床とウイルス 23（1）：44 ～ 47, 1995.
インフルエンザウイルス A型(H1N1)(H3N2)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
インフルエンザウイルス A型	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
インフルエンザウイルス B型〔HI〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214 ～ 225, 1973.
インフルエンザウイルス B型〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
パラインフルエンザウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214 ～ 225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214 ～ 225, 1973.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
パラインフルエンザウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214 ～ 225, 1973.
RSウイルス〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
RSウイルス〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
麻疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
麻疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48 ～ 61, 1987.
麻疹ウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48 ～ 61, 1987.
ムンプスウイルス〔NT〕	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260 ～ 274, 1973.
ムンプスウイルス〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
ムンプスウイルス IgG	尾崎　隆男,他：臨床とウイルス 50（3）：129 ～ 133, 2022.
ムンプスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第 1 分冊：48 ～ 61, 1987.
HTLV-Ⅰ(ATLV) 抗体(一次検査)	植栁　泰,他：医学と薬学 73（8）：1031 ～ 1035, 2016.
HTLV-1抗体(確認検査)	Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5（1）：45 ～ 49, 1998.
HTLV-1核酸検出(妊婦) 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80（21）：10683 ～ 10691, 2006.
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80（21）：10683 ～ 10691, 2006.
HTLV-Ⅰ(ATLV) プロウイルスDNA(クロナリティ)	渡辺　俊樹,他：Meidical　Immunology 16（6）：785 ～ 791, 1988.
HIV-1RNA 定量	目崎　和久,他：医学と薬学 73（6）：705 ～ 709, 2016.
HIV-1/2 特異抗体	Kondo M, et al：PLOS ONE 13（10）e0198924：1 ～ 10, 2018.
HIV抗原・抗体	桜庭　尚哉,他：医学と薬学 65（5）：663 ～ 672, 2011.
ノロウイルス抗原	田中　智之：医学と薬学 61（1）：93 ～ 98,　2009.
ノロウイルスRNA定性	Kageyama T, et al：J Clin Microbiol 41（4）：1548 ～ 1557, 2003.
感染症(非ウイルス)関連検査	
クラミジアトラコマティス IgA	梶原　祥子,他：医学と薬学 37（3）：711 ～ 719,　1997.
クラミジアトラコマティス IgG	梶原　祥子,他：医学と薬学 37（3）：711 ～ 719,　1997.
クラミジアトラコマティスDNA	熊本　悦明,他：医学と薬学 66（6）：1007 ～ 1014, 2011.
オーム病クラミドフィラ(クラミジア シッタシ)	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62 ～ 75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62 ～ 75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgG	松本　明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgA	松本　明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgM	宮下　修行,他：小児科診療 71（1）：95 ～ 99, 2008
抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO)	伊藤　忠一：臨床検査 39（6）：685 ～ 688, 1995.
エンドトキシン定量	土谷　正和,他：日本細菌学雑誌 45（6）：903 ～ 911, 1990.
透析液中エンドトキシン A液	相沢　真紀,他：腎と透析 55 別冊：68 ～ 70, 2003.
透析液中エンドトキシン B液	相沢　真紀,他：腎と透析 55 別冊：68 ～ 70, 2003.
透析液中エンドトキシン RO水	相沢　真紀,他：腎と透析 55 別冊：68 ～ 70, 2003.
透析液中エンドトキシン 調整液	相沢　真紀,他：腎と透析 55 別冊：68 ～ 70, 2003.
透析液中エンドトキシン その他	相沢　真紀,他：腎と透析 55 別冊：68 ～ 70, 2003.
百日咳抗体〔EIA〕	岡田　賢司：医学と薬学 65（4）：531 ～ 536, 2011.
抗ヘリコバクターピロリ抗体〔LA〕	乾　正幸,他：日本ヘリコバクター学会誌 19（1）：33 ～ 42, 2017.
便中ヘリコバクターピロリ抗原	朝日　佳代子,他：医学と薬学 57（2）：253 ～ 260, 2007.
梅毒定性 RPR〔LA〕	桜庭　尚哉：医学と薬学 63（1）：103 ～ 109, 2010.
梅毒定量 RPR〔LA〕	桜庭　尚哉：医学と薬学 63（1）：103 ～ 109, 2010.
梅毒定性 TP抗体〔LA〕	高橋　勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33（1）：89 ～ 95, 2010.
梅毒定量 TP抗体〔LA〕	高橋　勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33（1）：89 ～ 95, 2010.
寒冷凝集反応	原島　典子,他：衛生検査 27（1）：67 ～ 71, 1978.
マイコプラズマニューモニエ〔CF〕	北村　元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880 ～ 886, 1988.
マイコプラズマニューモニエ〔PA〕	大関　トシイ,他：自治医科大学臨床検査技師年報 12：62 ～ 64, 1988.
ツツガムシカープ IgG	山本　正悟：臨床とウイルス 12（3）：270 ～ 274, 1984.
ツツガムシカープ IgM	山本　正悟：臨床とウイルス 12（3）：270 ～ 274, 1984.
ツツガムシカトー IgG	山本　正悟：臨床とウイルス 12（3）：270 ～ 274, 1984.
ツツガムシカトー IgM	山本　正悟：臨床とウイルス 12（3）：270 ～ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgG	山本　正悟：臨床とウイルス 12（3）：270 ～ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgM	山本　正悟：臨床とウイルス 12（3）：270 ～ 274, 1984.
クリプトコックス・ネオフォルマンス抗原	篠田　孝子,他：真菌と真菌症 30（3）：211 ～ 221, 1989.
カンジダマンナン抗原	新崎　晃弘,他：臨床検査機器・試薬 23（3）：197 ～ 203, 2000.
アスペルギルス抗体IgG	Guitard J, et al：J Clin Microbiol 50（3）：762 ～ 765, 2012.
アスペルギルス抗原	見手倉　久治,他：医学と薬学 42（1）：207 ～ 212, 1999.
β-D-グルカン	吉田　耕一郎,他：医学と薬学 67（6）：895 ～ 902, 2012.
トリコスポロン・アサヒ抗体	三宅　修司,他：日本呼吸器学会誌 39（1）：7 ～ 11, 2001.
トキソプラズマ IgG抗体	亀井　喜世子,他：臨床病理 42（7）：743 ～ 747, 1994.
トキソプラズマ IgM抗体	亀井　喜世子,他：臨床病理 42（7）：743 ～ 747, 1994.
赤痢アメーバ抗体定性	Watanabe K, et al：J Infect Chemother 27（5）：736 ～ 739, 2021.
結核菌特異的IFN-γ	Meier T, et al：European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases24：529 ～ 536, 2005.
MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	Kitada S, et al：AMERICAN JOURNAL OF Respiratory and Critical Care Medicine 177（1）：793~797, 2008.

検査項目	測定法参考文献
自己免疫関連検査	
抗核抗体(ANA)	東條　毅：臨床検査 30（7）：687 ～ 692, 1986.
抗DNA抗体〔RIA〕	鈴木　王洋,他：臨床免疫 25（8）：1096 ～ 1102, 1993.
抗ss-DNA IgG抗体	陣内　記代,他：日本臨床検査自動化学会会誌 26（6）：747 ～ 753, 2001.
抗ss-DNA IgM抗体	山下　雅樹,他：医学と薬学 58（5）：763 ～ 767, 2007.
抗ds-DNA IgG抗体	陣内　記代,他：日本臨床検査自動化学会会誌 26（6）：747 ～ 753, 2001.
抗ds-DNA IgM抗体	山下　雅樹,他：医学と薬学 58（5）：763 ～ 767, 2007.
抗Sm抗体〔CLEIA〕	西山　進,他：医学と薬学 68（2）：345 ～ 355, 2012.
抗RNP抗体〔CLEIA〕	西山　進,他：医学と薬学 68（2）：345 ～ 355, 2012.
抗SS-A/Ro抗体〔CLEIA〕	西山　進,他：医学と薬学 68（2）：345 ～ 355, 2012.
抗SS-B/La抗体〔CLEIA〕	西山　進,他：医学と薬学 68（2）：345 ～ 355, 2012.
抗Scl-70抗体〔CLEIA〕	松下　雅和,他：医学と薬学 70（1）：109 ～ 117, 2013.
抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	桑名　正隆：リウマチ科 40（3）：239 ～ 245, 2008.
抗セントロメア抗体	小島　和夫,他：医学と薬学 69（4）：677 ～ 687, 2013.
抗Jo-1抗体〔CLEIA〕	松下　雅和,他：医学と薬学 70（1）：109 ～ 117, 2013.
抗ARS抗体	山田　祐介,他：リウマチ科 45（2）：133 ～ 138, 2011.
抗MDA5抗体	Sato S, et al：PLOS ONE 11（4）：e0154285, 2016.
抗Mi-2抗体	Fujimoto M, et al：J Dermatol Sci. 84（3）：272 ～ 281, 2016.
抗TIF1-γ抗体	Fujimoto M, et al：J Dermatol Sci. 84（3）：272 ～ 281, 2016.
リウマチ因子(RF) 定量	鬼塚　聖子,他：日本臨床検査自動化学会会誌 35（1）：17 ～ 22, 2010.
IgG型リウマチ因子	中園　清：医学と薬学 45（3）：481 ～ 486, 2001.
抗ガラクトース欠損IgG抗体	平山　吉朗,他：医学と薬学 42（5）：817 ～ 828, 1999.
抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	山下　里美,他：医学と薬学 66（3）：569 ～ 576, 2011.
抗ミトコンドリア抗体	山内　進：臨床免疫 7（7）：825 ～ 830, 1975.
抗ミトコンドリア M2抗体	丹野　瑞木,他：医学と薬学 67（3）：485 ～ 495, 2012.
抗平滑筋抗体	山内　進：臨床免疫 7（7）：825 ～ 830, 1975.
抗胃壁細胞抗体	山内　進：衛生検査 22（12）：1085 ～ 1089, 1973.
抗内因子抗体	Elizabeth A. Gomez et al：Clinical Chemistry 51（1）：232 ～ 235, 2005.
プロスタグランジンE主要代謝物(PGE-MUM)	森山　和重,他：医学と薬学 77（3）：393 ～ 401, 2020.
ロイシンリッチα2グリコプロテイン(LRG)	高山　茂雄,他：医学と薬学 76（12）：1769 ～ 1780, 2019.
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)〔CLEIA〕	矢野　美沙紀,他：医学と薬学 77（5）：793 ～ 804, 2020.
抗サイログロブリン抗体〔CLEIA〕	矢野　美沙紀,他：医学と薬学 77（5）：793 ～ 804, 2020.
甲状腺刺激抗体(TSAb)	保科　元気,他：医学と薬学 79（8）：1079 ～ 1086, 2022.
TSHレセプター抗体〔CLEIA〕	矢野　美沙紀,他：医学と薬学 77（5）：793 ～ 804, 2020.
抗GAD抗体〔ELISA〕同時依頼用	及川　洋一,他：医学と薬学 72（9）：1551 ～ 1560, 2015.
抗IA-2抗体〔ELISA〕同時依頼用	川﨑　英二,他：医学と薬学 66（2）：345 ～ 352, 2011.
抗GAD抗体	及川　洋一,他：医学と薬学 72（9）：1551 ～ 1560, 2015.
抗IA-2抗体	川﨑　英二,他：医学と薬学 66（2）：345 ～ 352, 2011.
亜鉛トランスポーター 8（ZnT8)抗体	Eiji Kawasaki et al：Acta Diabetol 51（3）：429 ～ 434, 2014.
インスリン抗体	内潟　安子,他：医学と薬学 65（4）：525 ～ 530, 2011.
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	太田　光熙,他：ホルモンと臨床 48（1）：89 ～ 93, 2000.
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	本村　政勝,他：医学と薬学 70（2）：421 ～ 428, 2013.
抗P/Q型 電位依存性 カルシウムチャネル抗体(抗P/Q型VGCC抗体)	本村　政勝,他：医学と薬学 77（7）：1057 ～ 1063, 2020.
抗デスモグレイン1抗体	吉田　かおり,他：医学と薬学 70（5・6）：989 ～ 1000, 2013.
抗デスモグレイン3抗体	吉田　かおり,他：医学と薬学 70（5・6）：989 ～ 1000, 2013.
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	吉田　かおり,他：医学と薬学 70（5・6）：989 ～ 1000, 2013.
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	臼井　丈一,他：医学と薬学 68（4）：697 ～ 704, 2012.
精子不動化抗体	香山　浩二：日本産科婦人科学会雑誌 42（11）：N209 ～ N212, 1990.
精子不動化抗体(SI50)	香山　浩二：日本産科婦人科学会雑誌 42（11）：N209 ～ N212, 1990.
ループスアンチコアグラント〔APTT凝固時間法〕	後藤　守孝,他：Modern Physician 15（12）：1545 ～ 1550, 1995.
ループスアンチコアグラント〔希釈ラッセル蛇毒時間法〕	藤岡　貴：医学と薬学 73（5）：621 ～ 626, 2016.
ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	藤岡　貴：医学と薬学 73（5）：621 ～ 626, 2016.
抗カルジオリピン β_2グリコプロテインⅠ 複合体抗体(抗CL・β_2GPⅠ抗体)	野島　順三,他：医学と薬学 32（6）：1315 ～ 1320, 1994.
抗β_2グリコプロテインⅠ IgG抗体	小川　昌起,他：医学と薬学 78（4）：447 ～ 459, 2021.
抗β_2グリコプロテインⅠ IgM抗体	小川　昌起,他：医学と薬学 78（4）：447 ～ 459, 2021.
抗カルジオリピンIgG抗体	小川　昌起,他：医学と薬学 78（4）：447 ～ 459, 2021.
抗カルジオリピンIgM抗体	小川　昌起,他：医学と薬学 78（4）：447 ～ 459, 2021.
抗血小板抗体	柴田　洋一：輸血学　（中外医学社）：457 ～ 470, 1978.
PAIgG(血小板関連IgG)	林　悟,他：臨床病理 32（11）：1253 ～ 1257, 1984.
HIT抗体(血小板第4因子・ヘパリン複合体抗体)	阪田　敏幸：医学と薬学 68（3）：547 ～ 555, 2012.
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	松下　雅和,他：医学と薬学 66（5）：823 ～ 828, 2011.
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下　雅和,他：医学と薬学 66（5）：823 ～ 828, 2011.
抗LKM-1抗体	竹村　真理,他：医学と薬学 46（1）：109 ～ 114, 2001.
抗アクアポリン4抗体	高橋　利幸,他：医学と薬学 73（10）：1297 ～ 1300, 2016.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
抗表皮成分自己抗体〔直接法〕	川生　明：病理と臨床 6（増）：10 ～ 13, 1988.
免疫血液学的検査	
ABO式血液型	長田　広司：医薬ジャーナル 32（S1）：215 ～ 219, 1996.
Rh(D因子)式血液型	長田　広司：医薬ジャーナル 32（S1）：215 ～ 219, 1996.
Rh-Hr式血液型	長田　広司：医薬ジャーナル 32（S1）：215 ～ 219, 1996.
血液型不適合妊娠	支倉　逸人：日本臨牀 26（2）：262 ～ 272, 1968.
直接クームス試験	浅井　隆善：医学のあゆみ 167（9）：700, 1993.
間接クームス試験	浅井　隆善：医学のあゆみ 167（9）：700, 1993.
不規則性抗体(抗体同定・抗体価測定)	浅井　隆善：医学のあゆみ 167（9）：700, 1993.
免疫グロブリン	
IgG	金井　正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：823 ～ 827, 1998.
IgA	金井　正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：823 ～ 827, 1998.
IgM	金井　正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：823 ～ 827, 1998.
IgGサブクラス分画(TIA)	川　茂幸,他：医学と薬学 74（4）：463 ～ 470, 2017.
IgG2	川　茂幸,他：医学と薬学 74（4）：463 ～ 470, 2017.
IgG4	松木　友里,他：医学と薬学 75（7）：849 ～ 858, 2018.
免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕	大谷　英樹,他：日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版：8 ～ 26, 1977.
免疫電気泳動〔免疫固定法〕(ADIRA)ダラツムマブ用	McCudden C, et al：Clin Chem Lab Med 54（6）：1095 ～ 1104, 2016.
免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比(フリーライトチェーン)	守田　由香,他：医学と薬学 74（8）：945 ～ 950, 2017.
尿中免疫電気泳動〔尿中ベンスジョーンス蛋白の同定〕	大谷　英樹,他：日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版：8 ～ 26, 1977.
オリゴクローナルバンド	佐々木　征治,他：最新電気泳動実験法(医歯薬出版)：61 ～ 74, 1999.
クリオグロブリン定性	青木　紀生,他：Medical Technology 6（8）：619 ～ 624, 1978.
補体および関連物質	
血清補体価	中藤　聡子,他：臨床検査機器・試薬 19（4）：609 ～ 613, 1996.
C3	金井　正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：833 ～ 837, 1998.
C4	金井　正光,他：臨床検査法提要 第31版(金原出版)：833 ～ 837, 1998.
C1q	櫻林　郁之介,他：臨床病理 特(53)：71 ～ 81, 1983.
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒビター活性)	Dick W et al：Immun Infekt 13：113 ～ 118, 1985.
血漿蛋白	
プレアルブミン	古田島　伸雄,他：日本臨床検査自動化学会会誌 32（1）：84 ～ 88, 2007.
α_1-マイクログロブリン	中野　卓,他：臨床検査機器・試薬 11（3）：469 ～ 476, 1988.
α_1アンチトリプシン	櫻林　郁之介,他：臨床病理 特(53)：71 ～ 81, 1983.
α_1アシドグリコプロテイン	櫻林　郁之介,他：臨床病理 特(53)：71 ～ 81, 1983.
レチノール結合蛋白(RBP)	古田島　伸雄,他：日本臨床検査自動化学会会誌 32（1）：84 ～ 88, 2007.
α_2-マクログロブリン	櫻林　郁之介,他：臨床病理 特(53)：71 ～ 81, 1983.
ハプトグロビン(型判別)	伊藤　忠一：検査と技術 22（5)増刊号：42 ～ 43, 1994.
セルロプラスミン	櫻林　郁之介,他：臨床病理 特(53)：71 ～ 81, 1983.
トランスフェリン	伊藤　忠一：検査と技術 16（7）：593 ～ 598, 1988.
尿中トランスフェリン	齋藤　良一,他：日本臨床検査自動化学会会誌 25（5）：687 ～ 690, 2000.
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	齋藤　良一,他：日本臨床検査自動化学会会誌 25（5）：687 ～ 690, 2000.
β_2-マイクログロブリン	伊藤　浩治,他：医療と検査機器・試薬 26（2）：127 ～ 134, 2003.
C反応性蛋白(CRP)定量	小林　咲絵,他：医学と薬学 78（1）：81 ～ 89, 2021.
血清アミロイドA蛋白(SAA)	永徳　広美,他：生物物理化学 37（1）：19 ～ 23, 1993.
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	藤田　孝,他：医療と検査機器・試薬 33（5）：629 ～ 632, 2010.
心室筋ミオシン軽鎖Ⅰ	宮崎　修一,他：医学と薬学 52（3）：443 ～ 449, 2004.
心筋トロポニンT	古屋　実,他：医学と薬学 74（5）：607 ～ 617, 2017.
フェリチン	唐澤　美佳,他：医療と検査機器・試薬 29（5）：493 ～ 497, 2006.
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)〔CLEIA〕	森　さゆり,他：医療と検査機器・試薬 41（6）：615 ～ 620, 2018.
尿中NGAL	Cullen MR, et al：Ann Clin Biochem 49（2）：190 ～ 193, 2012.
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	Lockwood CJ et al：The New England Journal of Medicine 325（10）：669 ～ 674, 1991.
Ⅰ型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	日高　好博：医学と薬学 70（2）：357 ～ 365, 2013.
Ⅰ型コラーゲンC末端 テロペプチド(ⅠCTP)	清原　剛,他：ホルモンと臨床 42（12）：1189 ～ 1193, 1994.
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi) 定量	Uojima H, et al：J Gastroenterol 58（12）：1252 ～ 1260, 2023.
オートタキシン	宇佐美　陽子,他：医学検査 68（1）：99 ～ 104, 2019.
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)〔CLIA〕	北原　志穂,他：医学と薬学 72（9）：1579 ～ 1590, 2015.
尿中Ⅳ型コラーゲン	小幡　賢一,他：臨床検査機器・試薬 18（3）：439 ～ 444, 1995.
Ⅳ型コラーゲン・7S〔CLEIA〕	大高木　結媛,他：医学と薬学 77（5）：785 ～ 792, 2020.
デオキシピリジノリン	山本　逸雄,他：ホルモンと臨床 44（7）：747 ～ 757, 1996.
デオキシピリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	山本　逸雄,他：ホルモンと臨床 44（7）：747 ～ 757, 1996.
KL-6	桜庭　尚哉,他：医学と薬学 61（4）：629 ～ 635, 2009.
プロカルシトニン	小林　一三,他：医学と薬学 73（4）：459 ～ 467, 2016.

検査項目	測定法参考文献
免疫血清学(その他)	
β-アミロイド1-42/1-40比	Maria João Leitão, et al：Alzheimers Res Ther 11（1）：91, 2019.
リン酸化タウ	Maria João Leitão, et al：Alzheimers Res Ther 11（1）：91, 2019.
タウ蛋白	湯原　麻子,他：医学と薬学 79（1）：91～97, 2022.
コクリン-トモプロテイン(CTP)	池園　哲郎：Otology Japan 22（5）：911～917, 2012.
抗アデノ随伴ウイルス血清型rh74(AAVrh74)抗体	Goedeker L, et al：Ther Adv Neurol Disord 16：1～7, 2023.
サイトカイン	
可溶性IL-2レセプター（sIL-2R）	林　圭織,他：医学と薬学 75（12）：1611～1620, 2018.
TARC(Th2ケモカイン)	安江　智美,他：アレルギーの臨床 34（10）：880～885, 2014.
IL-4（インターロイキン-4)(高感度)	Kricka LJ：Clinical Chemistry 37（9）：1472～1481, 1991.
インターロイキン-6(IL-6)	中澤　拓哉,他：医学と薬学 81（10）：599～605, 2024.
IL-6（インターロイキン-6）	竹村　正男,他：医学と薬学 36（5）：1071～1076, 1996.
IL-10（インターロイキン-10）	Groote DD et al：Journal of Immunological Methods 177：225～234, 1994.
アレルギー検査	
IgE(非特異的IgE)〔FEIA〕	岩崎　栄作,他：小児科臨床 50（1）：145～151, 1997.
特異的IgE(MAST36アレルゲン)	中川　武正,他：アレルギーの臨床 26（3）：238～242, 2006.
特異的IgE(MAST48mix)	澤崎　健：アレルギーの臨床 38（12）：1145～1151, 2018.
特異的IgE(View アレルギー 39)	張田　聖恵：医学と薬学 73（6）：721～726, 2016.
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルゲン)	奥田　勲,他：医学検査 46（10）：1525～1530, 1997.
特異的IgE（C-PAC16アレルゲン）	奥田　勲,他：医学検査 46（10）：1525～1530, 1997.
特異的IgE（C-PAC5アレルゲン）	奥田　勲,他：医学検査 46（10）：1525～1530, 1997.
特異的IgE(マルチアレルゲン)	奥田　勲,他：医学検査 46（10）：1525～1530, 1997.
特異的IgE(シングルアレルゲン)〔FEIA〕	奥田　勲,他：医学検査 46（10）：1525～1530, 1997.
特異的IgE(Ara h 2)(ピーナッツ由来)	奥田　勲,他：医学検査 46（10）：1525～1530, 1997.
細胞性免疫検査	
CD34定量	Chen CH et al：Journal of Hematotherapy 3：3～13, 1994.
高感度PNH型血球検査	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会：日本臨床検査標準協議会会誌 18（2）：69～85, 2003.
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al：American Journal of Clinical Pathology 100：534～540, 1993.
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al：American Journal of Clinical Pathology 100：534～540, 1993.
多発性骨髄腫解析検査　CD38マルチ解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL：CYTOMETRY 22：264～281, 1995.
多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー(8color)	Takamatsu H, et al：Int J Hematol 109（4）：377～381, 2019.
悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, ET AL：CYTOMETRY 22：264～281, 1995.
PHAによるリンパ球 幼若化検査	笠原　忠,他：臨床検査 23（7）：660～667, 1979.
Con-Aによるリンパ球 幼若化検査	笠原　忠,他：臨床検査 23（7）：660～667, 1979.
薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST)	北見　啓之,他：臨床免疫 15（9）：727～736, 1983.
MLC(リンパ球混合培養)	笹月　健彦,他：移植 14（2）：93～113, 1979.
T細胞百分率 B細胞百分率	Wauwe JV et al：Immunology 44：865～871, 1981.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgG	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28（9）：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgA	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28（9）：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgM	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28（9）：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgD	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28（9）：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) K	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28（9）：1905～1909, 1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) L	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28（9）：1905～1909, 1982.
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	Ip SH et al：Clinical Chemistry 28（9）：1905～1909, 1982.
IgG-FcR^+・T細胞百分率	Perussia B et al：The Journal of Immunology 130（5）：2133～2141, 1983.
血小板表面マーカー検査 CD41	野村　昌作,他：臨床免疫 19（8）：717～724, 1987.
血小板表面マーカー検査 CD42b	野村　昌作,他：臨床免疫 19（8）：717～724, 1987.
Th1/Th2（IFN-γ×IL-4/CD4）	渋谷　和子：細胞工学 17（5）：807～816, 1998.
NK細胞活性	康　浩一,他：Medical Technology 21（7）：574～580, 1993.
抗原特異的CTL	
サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*0201)	馬場　俊之,他：血液腫瘍科 45（1）：22～27, 2002.
サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*2402)	馬場　俊之,他：血液腫瘍科 45（1）：22～27, 2002.
先天異常の染色体検査	
染色体 G-Banding	Seabright M：The Lancet 2：971～972, 1971.
染色体 C-Banding	Sumner AT et al：Exp Cell Res 75：304～306, 1972.
染色体 Q-Banding	Caspersson T et al：Hereditas 67：89～102, 1971.
染色体SKY(先天異常)	Veldman T et al：Nature Genetics 15：406～410, 1997.
脆弱X染色体(脆弱X症候群)	Sutherland GR：Science 197：265～266, 1977.
5染色体(ソトス症候群)	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
7染色体(ウイリアムス症候群)	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
13染色体	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
15染色体(プラダーウイリ症候群)	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
15染色体(アンジェルマン症候群)	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
18染色体	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
21染色体	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
22染色体(22q11.2欠失症候群)〔FISH〕	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
X染色体	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
Y染色体	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
Y染色体(睾丸決定遺伝子*SRY*)	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
X,Y染色体(身長関連遺伝子*SHOX*)	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
マイクロアレイ染色体検査(染色体構造変異解析)	David T. Miller, et al：Am J Hum Genet. 86（5）：749～764, 2010.
白血病や悪性リンパ腫の染色体検査	
血液疾患染色体 G-Banding	Seabright M：The Lancet 2 971～972, 1971.
染色体SKY(血液疾患)	Veldman T et al：Nature Genetics 15：406～410, 1997.
TCF3::*PBX1* t(1;19)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
CKS1B 1q21 増幅	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
ALK 2p23転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
GATA2::*MECOM* inv(3)逆位,t(3;3)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
BCL6 3q27転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
IGH::*FGFR3* t(4;14)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
FIP1L1::*PDGFRA* del(4) 長腕欠失(4q12欠失)	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
CSF1R del(5)長腕欠失	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
EGR1 del(5)長腕欠失	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
PDGFRB 5q32転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
D7S486 del(7)長腕欠失／7染色体(7モノソミー)	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
8染色体	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
MYC 8q24転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
IGH::*MYC* t(8;14)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
RUNX1::*RUNX1T1* t(8;21)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
FGFR1 8p11.2転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
BCR::*ABL1* t(9;22)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
末梢血好中球 *BCR*::*ABL1* t(9;22)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
KMT2A 11q23.3転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
IGH::*CCND1* t(11;14)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
NUP98 11p15転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
BIRC3::*MALT1* t(11;18)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
ATM del(11)長腕欠失	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
12染色体	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
ETV6::*RUNX1* t(12;21)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
D13S319 del(13)長腕欠失	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
IGH::*BCL2* t(14;18)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
IGH::*MAF* t(14;16)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
PML::*RARA* t(15;17)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
TP53 del(17)短腕欠失	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
MALT1 18q21転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
BCL2 18q21転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
del(20)長腕欠失	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
X染色体	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
Y染色体	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
固形腫瘍の染色体検査	
del(1)短腕欠失	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
MYCN 2p24増幅	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
del(19)長腕欠失	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
EWSR1 22q12転座	稲澤　譲治：臨床FISHプロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90～95, 1997.
造血器腫瘍遺伝子検査	
FLT3/ITD 変異解析	Kiyoi. H, et al：Leukemia 11（9）：1447～1452, 1997.
*FLT3*変異解析ITD/TKD	Murphy KM, et al：J Mol Diagn 5（2）：96～102, 2003.
*IDH1*遺伝子解析(AML)	Loussouarn D, et al：Int J Oncol 40（6）：2058～2062, 2012.

検査項目	測定法参考文献
*NPM1*変異解析	Gorello P,et al：Leukemia, 20（6）：1103～1108, 2006.
*KIT*シーケンス解析(AML/SM)	E Barragan, et al：Hematologica 89（8）：920～925, 2004.
*JAK2*V617F遺伝子変異解析	桐戸　敬太,他：臨床血液 59（6）：669～674, 2018.
MPN遺伝子変異解析	Tsunedomi R, et al：Cancer Science 108（7）：1504～1509, 2017.
CREB3L1 mRNA定量	Morishita S, et al：Cancer Sci 112（2）：884～892, 2021.
*MYD88*遺伝子変異解析	Kraan W, et al：Blood Cancer J. 3（9）：e139, 2013.
*CD79B*遺伝子変異解析	Kraan W, et al：Blood Cancer J. 3（9）：e139, 2013.
白血病キメラスクリーニング(定量)	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
WT1 mRNA定量	宮脇　修一,他：臨床血液 46（12）：1279～1287, 2005.
Major *BCR::ABL1* mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
Major *BCR::ABL1* mRNA(IS)	Nakamae H, et al：Int J Hematol 102（3）：304～311, 2015.
Major *BCR::ABL1* mRNA(%)	Nakamae H, et al：Int J Hematol 102（3）：304～311, 2015.
Major *BCR::ABL1* mRNA定性	Kawasaki ES, et al：Proc Natl Acad Sci USA 85（15）：5698～5702, 1988.
Major *BCR::ABL1* ABL1変異解析	Arghya Ray, et al：Blood 109（11）：5011～5015, 2007.
minor *BCR::ABL1* mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
minor *BCR::ABL1* mRNA定性	Kawasaki ES, et al：Proc Natl Acad Sci USA 85（15）：5698～5702, 1988.
micro *BCR::ABL1* mRNA定性	Kawasaki ES, et al：Proc Natl Acad Sci USA 85（15）：5698～5702, 1988.
minor *BCR::ABL1* ABL1変異解析	Arghya Ray, et al：Blood 109（11）：5011～5015, 2007.
minor *BCR::ABL1*（%）	J Gabert, et al：Leukemia 17（12）：2318～2357, 2003.
min *BCR::ABL1*（%)マルク	J Gabert, et al：Leukemia 17（12）：2318～2357, 2003.
TCF3::PBX1 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
TCF3::PBX1 mRNA定性	Hunger SP et al：Blood 77（4）：687～693, 1991.
PML::RARA mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
PML::RARA mRNA定性	Borrow J et al：Science 249：1577～1580, 1990.
CBFB::MYH11 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
CBFB::MYH11 mRNA定性	Claxton DF et al：Blood 83（7）：1750～1756, 1994.
RUNX1::RUNX1T1 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
RUNX1::RUNX1T1 mRNA定性	Miyoshi H et al：Proc Natl Acad Sci USA 88（23）：10431～10434, 1991.
RUNX1::MECOM mRNA定性	Mitani K et al：The EMBO Journal 13（3）：504～510, 1994.
ETV6::RUNX1 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
ETV6::RUNX1 mRNA定性	Shurtleff SA et al：Leukemia 9（12）：1985～1989, 1995.
KMT2A::AFF1 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
KMT2A::AFF1 mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83（10）：2912～2921, 1994.
KMT2A::AFDN mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
KMT2A::AFDN mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83（10）：2912～2921, 1994.
KMT2A::MLLT3 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
KMT2A::MLLT3 mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83（10）：2912～2921, 1994.
KMT2A::MLLT1 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
KMT2A::MLLT1 mRNA定性	Yamamoto K et al：Blood 83（10）：2912～2921, 1994.
NUP98::HOXA9 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
STIL::TAL1 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
DEK::NUP214 mRNA定量	飯嶋　健太朗,他：SRL宝函 24（1・2）：65～68, 2000.
DEK::NUP214 mRNA定性	Soekarman D et al：Blood 79（11）：2990～2997, 1992.
免疫関連遺伝子再構成検査	
T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ1再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ2再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
T細胞レセプター γ鎖Jγ再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
T細胞レセプター δ鎖Jδ1再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンH鎖J_H再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンH鎖C_μ再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンL鎖J_κ再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C_κ再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
免疫グロブリンL鎖C_λ再構成	村上　龍文,他：日本臨牀 47（増刊号）：113～123, 1989.
悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査	
BRAF V600E遺伝子解析〔rSSO〕	Bando H. et al：BMC Cancer 13：405, 2013.
*FGFR*遺伝子解析(尿路上皮癌)	Parker BC, et al：J Pathol 232：4～15, 2014.
*EGFR*変異解析 v2.0	Benlloch S, et al：PLOS ONE 9（2）：e89518, 2014.
*EGFR*変異解析 v2.0（血漿）	Benlloch S, et al：PLOS ONE 9（2）：e89518, 2014.
KRAS G12C変異解析	Whitcombe D et al：Nature Biotech 17（8）：804～807, 1999.
*IDH1/2*遺伝子解析(グリオーマ)(FFPE)	Arita H, et al：Brain Tumor Pathol 32（1）：22～30, 2015.
*IDH1/2*遺伝子解析(グリオーマ)(FF)	Arita H, et al：Brain Tumor Pathol 32（1）：22～30, 2015.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
*c-kit*遺伝子変異解析(GIST)	Alessandra Maleddu, et al：Journal of Translational Medicine 9：75, 2011.
*POLE*遺伝子解析(子宮体癌)	Laczmanska I, et al：Pathol Res Pract 242：154315, 2023.
*RAS・BRAF*遺伝子変異解析	Bando H, et al：BMC Cancer 13：405, 2013.
大腸癌メチル化解析	豊田　実,他：生物物理化学 44（3）：157～161, 2000.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FFPE)	Buhand O, et al：J Clin Oncol. 24（2）：241～251, 2006.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FF)	Buhand O, et al：J Clin Oncol. 24（2）：241～251, 2006.
肺癌オンコマインDxTTマルチ8遺伝子 CDx FFPE	Meenakshi M, et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
肺癌オンコマインDxTTマルチ8遺伝子 CDx FF	Meenakshi M, et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx FFPE	Meenakshi M, et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx FF	Meenakshi M, et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
肺癌オンコマインDxTTマルチ8遺伝子 CDx(46)FFPE	Meenakshi M, et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
肺癌オンコマインDxTTマルチ8遺伝子 CDx(46)FF	Meenakshi M, et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx(46)FFPE	Meenakshi M, et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
甲状腺癌オンコマインDxTTマルチ2遺伝子CDx(46)FF	Meenakshi M, et al：PLOS ONE 12（8）：e0181968, 2017.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(3ヵ月以下)	Hirsch, F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(3～12ヵ月)	Hirsch, F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(12～24ヵ月)	Hirsch, F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(FF)	Hirsch, F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3ヵ月以下)	Hirsch, F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3～12ヵ月)	Hirsch, F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(12～24ヵ月)	Hirsch, F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(FF)	Hirsch, F.R. et al：Lancet Oncol 10（5）：432～433, 2009.
MINtS肺癌マルチ3CDx	Inoue Y, et al：PLOS ONE 12（4）：e0176525, 2017.
MINtS肺癌マルチ3CDx参考情報有	Inoue Y, et al：PLOS ONE 12（4）：e0176525, 2017.
遺伝学的検査	
*RET*遺伝子解析(甲状腺髄様癌)	Kihara M, et al：Auris Nasus Larynx 43（5）：551～555, 2016.
*RET*遺伝子シングルサイト解析(甲状腺髄様癌)	Kihara M, et al：Auris Nasus Larynx 43（5）：551～555, 2016.
*SNRPN*遺伝子解析〔メチレーションPCR〕(プラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群)	Kenjiro K, et al：Am J Med Genet. 73（3）：308～313, 1997.
*PRRT2*遺伝子解析(発作性運動誘発性舞踏アテトーゼ)	Ono S,et al：J Hum Genet 57（5）：338～341, 2012.
*TTR*遺伝子解析(家族性アミロイドーシス)	Booth DR, et al：Circulation. 91（4）：962～967, 1995.
*MECP2*遺伝子解析(レット症候群)	Thierry Bienvenu et al：Human Molecular Genetics 9（9）：1377～1384 , 2000.
*ZEB2*遺伝子解析(モワット・ウィルソン症候群)	Yamada Y, et al：Am J Med Genet A. 164A(8)：1899～1908, 2014.
ジストロフィン遺伝子解析(デュシェンヌ型筋ジストロフィー ベッカー型筋ジストロフィー)	Lai KKS et al：Clin Biochemistry 39（4）：367～372, 2006.
フクチン遺伝子DNA挿入(福山型先天性筋ジストロフィー)	Watanabe M et al：American Journal of Medical Genetics 138A：344～348, 2005.
*TACSTD2*遺伝子解析(角膜ジストロフィー)	Nagahara Y, et al：Hum Genome Var. 6：33, 2019.
脊髄小脳変性症 遺伝子解析	石毛　崇之,他：日本臨床検査自動化学会会誌 39（2）：250～256, 2014.
*HTT*遺伝子CAGリピート解析(ハンチントン病)	Bean L, et al：Genet Med. 16（12）：1～7, 2014.
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析(球脊髄性筋萎縮症)	La Spada A. R, et al：Nature 352：77～79, 1991.
先天性QT延長症候群遺伝子解析	Fujiki R,et al：J Mol Diagn/pii：S1525-1578（17）30554-8：Jun 25, 2018.
*MEFV*遺伝子解析(家族性地中海熱)	The International FMF Consortium：Cell. 90（4）：797～807, 1997.
Y染色体微小欠失 (AZF欠失)	Masashi Iijima, et al：Int J Urol. 21（9）：910～916, 2014.
薬剤応答遺伝子検査	
*UGT1A1*遺伝子多型	Wong FL, et al：J Clin Lab Anal 21（3）：167～172, 2007. Ehmer U, et al：J Mol Diagn 10（6）：549～552, 2008.
*NUDT15*遺伝子codon 139多型解析	Moriyama T, et al：Nat Genet, 48（4）：367～373, 2016.
移植関連遺伝子検査	
HLA DNAタイピング〔NGS-SBT法〕	中條　聖子：臨床病理レビュー 164：132～139, 2020.
HLA-A(遺伝子型タイピング)	吉川　枝里,他：MHC10（1）：21～31,2003.
HLA-B(遺伝子型タイピング)	吉川　枝里,他：MHC10（1）：21～31,2003.
HLA-C(遺伝子型タイピング)	吉川　枝里,他：MHC10（1）：21～31,2003.
HLA-DRB1(遺伝子型タイピング)	吉川　枝里,他：MHC10（1）：21～31,2003.
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	日本組織適合性学会 認定制度委員会：QCWS参考プロトコル 抗体検査(LABScreen)平成29年度版.
フローサイトクロスマッチ(リンパ球交差試験)	石塚　敏：日本組織適合性学会誌 20（2）：121～129, 2013.
キメリズム解析移植前レシピエント〔PCR〕	白濱　秀也,他：SRL宝函 26（1）：71～76, 2002.
キメリズム解析移植前ドナー〔PCR〕	白濱　秀也,他：SRL宝函 26（1）：71～76, 2002.
キメリズム解析移植後〔PCR〕	白濱　秀也,他：SRL宝函 26（1）：71～76, 2002.
尿一般検査	
尿一般検査	金井　泉,他：臨床検査法提要 第34版(金原出版)：128～148, 2015.
尿沈渣	日本臨床検査標準協議会 尿沈渣専門委員会：尿沈渣検査法2010 日本臨床検査標準協議会会誌.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
糞便検査	
虫卵〔塗抹〕	金井　泉,他：臨床検査法提要 第30版(金原出版)：192～208, 1993.
虫卵〔集卵〕	金井　泉,他：臨床検査法提要 第30版(金原出版)：192～208, 1993.
便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	加藤　節子,他：医療と検査機器・試薬 29（5）：473～478, 2006.
便中ヘモグロビン定性・定量〔金コロイド法〕	加藤　節子,他：医療と検査機器・試薬 29（5）：473～478, 2006.
微生物学的検査	
一般細菌 （塗抹鏡検、培養同定、嫌気性培養、感受性検査、尿中生菌数定量、目的菌、環境検査、便検診検査）	Krieg NR, et al：Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.1. Williams & Wilkins, 1984. Krieg NR, et al：Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.2. Williams & Wilkins, 1986. 小酒井　望：臨床検査技術全書 7 微生物検査 初版 医学書院, 1974. 微生物検査必携 細菌・真菌検査(厚生省監修) 第3版 財団法人日本公衆衛生協会, 1987. CLSI M100：Performance Standards for Antimicrobial Susceptibility Testing 30th Edition, 2020. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1989年)：Chemotherapy 38（1）：102～105, 1990. 抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1992年)：Chemotherapy 41（2）：183～190, 1993. 三原　利仁,他：臨床と微生物 23（2）：249～254, 1996. 川上　小夜子,他：日本臨床微生物雑誌 12（2）：86～92, 2002. Clinical Microbiology Procedures Handbook-4th edition, 2016. 永沢　善三,他：日本臨床微生物雑誌 第27巻：臨床微生物質量分析計検査法ハンドブック：5～40, 2017.
ヘリコバクター培養同定・感受性検査	後藤　陽一郎,他：検査と技術 21（13）：1061～1066, 1993. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定委員会,ヘリコバクターピロリ委員会:日本化学療法学会誌 50（1):54～58, 2002.
CDトキシン(GDH)	蔵田　訓,他：臨床と微生物 37（5）：465～470, 2010. Limaye P. A. et al：J. Clin. Microbiol. 38（4）：1696～1697, 2000.
CDトキシンB遺伝子 定性	松浦　成美,他：医学検査 67（4）：451～455, 2018.
POT法(黄色ブドウ球菌)	鈴木　匡弘：THE CHEMICAL TIMES 221（3）：16～21, 2011.
抗酸菌(塗抹、分離培養、結核菌群抗原、感受性検査)	日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会：抗酸菌ガイド2016. 小栗　豊子,編　臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011.
抗酸菌同定〔質量分析〕	大楠　清文,他：抗酸菌検査ガイド 2016：60～65, 2016.
抗酸菌感受性(MIC)SGM	日本結核・非結核性抗酸菌症学会 抗酸菌検査法検討委員会：抗酸菌検査ガイド2020, 2020.
抗酸菌感受性(MIC)RGM	日本結核・非結核性抗酸菌症学会 抗酸菌検査法検討委員会：抗酸菌検査ガイド2020, 2020.
結核菌群核酸同定〔TRC〕	田村　卓,他：日本臨床微生物学雑誌 18（1）：15～19, 2008.
MAC核酸同定〔TRC〕	田村　卓,他：日本臨床微生物学雑誌 18（1）：15～19, 2008.
核酸増幅同定検査	
ニューモシスチス・イロベチイ(P.jirovecii)DNA定性	Monroy-Vaca EX, et al：J Clin Microbiol. 52（1）：45～51, 2014.
マイコプラズマニューモニエDNA	山口　恵三,他：医学と薬学 58（4）：565～571, 2007.
レジオネラDNA 定性	山口　恵三,他：医学と薬学 58（4）：565～571, 2007.
百日咳菌DNA	Kamachi K, et al：J Clin Microbiol 44（5）：1899～1902, 2006.
赤痢アメーバDNA 定性	Tachibana H, et al：J Infect Dis 164（4）：825～826, 1991.
淋菌DNA	熊本　悦明,他：医学と薬学 66（6）：1007～1014, 2011.
クラミジアトラコマティスDNA	熊本　悦明,他：医学と薬学 66（6）：1007～1014, 2011.
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	熊本　悦明,他：医学と薬学 66（6）：1007～1014, 2011.
腟トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出	Van Der Pol B,et al：JCM 59（10）：e00264-21, 2021.（腟トリコモナス） Van Der Pol B,et al：JCM 58（6）：e02124-19, 2020.（マイコプラズマジェニタリウム）
培養同定検査	
ウイルス分離	Hsiung GD：Diagnostic Virology An Illustrated Handbook：3～20, 1973.
ウイルス同定	Hsiung GD：Diagnostic Virology An Illustrated Handbook：3～20, 1973.
細胞診検査	
細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)	Strander B et al：Cancer 111（5）：285～291, 2007.
細胞診(婦人科LBC)	Strander B et al：Cancer 111（5）：285～291, 2007.
細胞診(尿LBC)	Strander B et al：Cancer 111（5）：285～291, 2007.
病理組織検査	
病理標本作製(一般材料)	日本臨床衛生検査技師会：病理検査技術教本(丸善出版)：2017.
病理標本作製(手術材料)	日本臨床衛生検査技師会：病理検査技術教本(丸善出版)：2017.
CD30(IHC)	長塩　亮,他：病理と臨床 32（臨増）：12～18, 2014.
悪性リンパ腫ALKタンパク(IHC)	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
エストロゲンレセプター（IHC）	Layfield LJ et al：Journal of Surgical Oncology 61：177～184, 1996.
プロゲステロンレセプター（IHC）	Layfield LJ et al：Journal of Surgical Oncology 61：177～184, 1996.
エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター（IHC）	Layfield LJ et al：Journal of Surgical Oncology 61：177～184, 1996.
乳癌HER2タンパク(IHC)4B5	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
乳癌*HER2*遺伝子(FISH)	Persons DL et al：Annals of Clinical Laboratory Science 30（1）：41～48, 2000.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
胃癌*HER2*遺伝子(FISH)	Persons DL et al：Ann Clin Lab Sci 30（1）：41～48, 2000.

参考文献一覧

検査項目	測定法参考文献
胃癌HER2タンパク(IHC)	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：136～143, 2002.
CLDN18タンパク(IHC)	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
胃癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
子宮頸癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
MMRタンパク(IHC)	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP263	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
肺癌ALKタンパク (IHC)D5F3	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
メラノーマPD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
CCR4タンパク(IHC)	名倉　宏,他：渡辺・中根 酵素抗体法　改訂四版(学際企画)：147～150, 2002.
*FGFR2*融合遺伝子(FISH)	AmoyDx® FGFR2 Gene Break-apart FISHプローブキット添付文書
総合解析検査	
悪性リンパ腫総合解析「ML-NET」v2	菊池　昌弘：Medical Technology 28（2）：114～121, 2000.
リスク検査	
男性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al：Biomedical Chromatography 24：683～691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al：Biomedical Chromatography 24：683～691, 2010.
男性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al：Biomedical Chromatography 24：683～691, 2010.
女性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al：Biomedical Chromatography 24：683～691, 2010.
男性AICS(5種)	Kazutaka Shimbo et al：Biomedical Chromatography 24：683～691, 2010.
女性AICS(6種)	Kazutaka Shimbo et al：Biomedical Chromatography 24：683～691, 2010.
健診・検診検査	
sd LDL-C(健診)	伊藤　康樹,他：日本臨床検査自動化学会会誌 37（1）：10～16, 2012.
MMRV IgG〔FIA〕検診	菅　秀：医学と薬学 76（12）：1791～1798, 2019.
免疫関連検査	
ミエリン塩基性蛋白(MBP)	中山　莉奈子,他：医学と薬学 80（9）：921～925, 2023.
自己免疫機能検査	
TSBAb(TSHレセプター抗体[阻害型])〔Bioassay〕	保科　元気,他：医学と薬学 80（1）：101～113, 2023.
その他特殊検査	
総タウ蛋白(AD)	湯原　麻子,他：医学と薬学 79（1）：91～97, 2022.
高分子量アディポネクチン〔CLEIA〕	折津　政江,他：医学と薬学 62（5）：891～898, 2009.
抗ミュラー管ホルモン(AMH)	浅田　義正,他：医学と薬学 72（1）：109～118, 2015.
自己抗体検査	
抗皮膚抗体	吉岡　順子：皮膚 23（1）：29～54, 1981.
抗ヒストン抗体	Burlingame RW et al：The Journal of Clinical Investigation 88：680～690, 1991.
抗ランゲルハンス氏島 抗体(ICA)	Bonifacio E et al：The Lancet 335（8682）：147～149, 1990.
抗好中球抗体	Lalezari P et al：Manual of Clinical Laboratory Immunohematology 4th Ed：344～350, 1992.
抗プロトロンビン抗体	鏑木　淳一,他：医学と薬学 47（5）：813～819, 2002.
補体系検査	
C1エステラーゼ抑制因子定量	Tietz NW et al：Clinical Guide to Laboratory Tests 3rd Ed：156～159,
神経・筋疾患検査	
ミエリン随伴性糖蛋白(MAG)自己抗体	McGinnis S et al：Journal of Neuroimmunology 17：119～126, 1988.
腫瘍関連検査	
Ri自己抗体	Andersson P et al：Anal Chem 79（11）：4022～4030, 2007.
Hu自己抗体	Andersson P et al：Anal Chem 79（11）：4022～4030, 2007.
Yo自己抗体	Andersson P et al：Anal Chem 79（11）：4022～4030, 2007.
腫瘍随伴性レチノパシー(CAR)自己抗体	Andersson P et al：Anal Chem 79（11）：4022～4030, 2007.